

3. 分倍河原駅周辺を対象とする 「府中市都市・地域交通戦略（案）」を作成しました

1 府中市都市・地域交通戦略（案）とは

JR南武線と京王線の乗換駅である、分倍河原駅の周辺地区は、府中市において重要な地域拠点です。しかし、老朽化した駅と駅南側の駅前広場を結ぶこ線橋や、救急車・消防車などの緊急車両の通行や転回が困難な駅北側の駅前空間、ラッシュ時の混雑が著しい分倍河原駅など、交通に関する地区の課題を抱えています。

これらの課題をまちづくりの事業と連携しながら、総合的に解決するため、交通戦略（案）を作成し、より良い地区の将来像を実現するため、様々な事業に取り組んでまいります。

2 主な内容

- ①都市・地域交通戦略の役割など
- ②分倍河原駅周辺のまちづくりの状況、課題など
- ③まちの将来像に向けた戦略
- ④具体的に取り組む施策やスケジュール
- ⑤策定後の展開

3 具体的な取組（施策）

①南北こ線橋の架け替え ②駅前の広場空間の確保 ③東西をつなぐ自由通路の新設 ④自転車駐輪場の配置換え ⑤駅へのアクセス道路の整備 ⑥駅舎の改良 など12の施策を掲載しています。

4 市民からのご意見の募集（パブリックコメント）を実施中です

11/27～12/26 までの期間で、市民の皆さまからご意見をいただく手続きを実施しています（広報11/21号参照）。ぜひご意見をお寄せください。

交通戦略（案）は、市のHPや、各文化センター・市政情報センターなどで見ることが出来ます。今後、地域の皆さまなどのご意見等を踏まえて策定を進めていきます。



混雑した分倍河原駅構内



空間が不足した駅北側の駅前空間



老朽化したこ線橋

ホームページ公開のお知らせ

まちづくりニュースは、市のホームページでもご覧になることができます。なお、ホームページだけでなく、市役所計画課の窓口でも配布しています。

<ホームページの開き方>

- 1 インターネット上で府中市のホームページを開く。
府中市のホームページアドレス <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>
- 2 トップページから「行政情報」の「施策・計画・審議会・協議会」の「施策・計画」を選択する。
- 3 「都市基盤分野」の「府中市まちづくり推進事業」を選択する。
- 4 「分倍河原駅周辺地区」を選択する。



発行・問合せ：府中市都市整備部計画課
〒183-8703 東京都府中市宮西町2丁目24番地
電話：042-335-4347（直通）
FAX：042-335-0499
Mail：tosikei01@city.fuchu.tokyo.jp

分倍河原駅周辺地区まちづくりニュース 第5号

平成29年12月発行

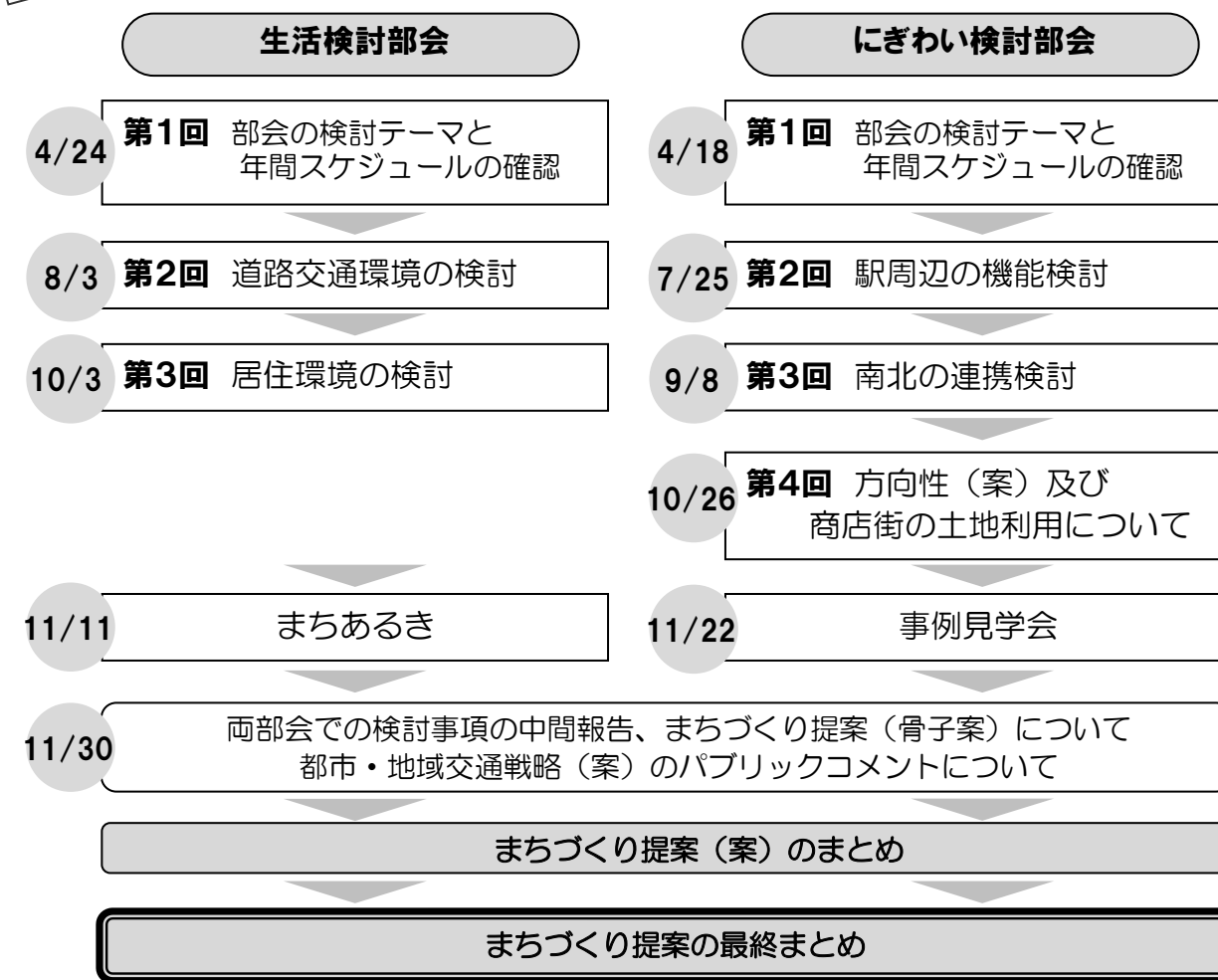
日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

分倍河原駅周辺地区では、これまで、生活検討部会を3回、にぎわい検討部会を4回開催し、議論の振り返りを兼ねた、まちあるきと事例見学会を開催しました。

次回の協議会からは、まちづくり提案の最終まとめに向けて、議論を進めていきます。

今回のまちづくりニュースではこれまでの経過と、前回のニュース発行以降に実施した「第4回にぎわい検討部会」、「まちあるき」、「事例見学会」、「まちづくり協議会全体会での中間報告」の様子、現在パブリックコメントを実施している「府中市都市・地域交通戦略（案）」についてご紹介します。

1. これまでの経過とまちづくり提案最終まとめまでの流れ



両部会での検討事項の中間報告



平成29年11月30日（木）、片町文化センターにて、まちづくり提案最終まとめに向けた中間報告が行われました。

当日は、「にぎわい検討部会」「生活検討部会」のこれまでの活動の経過を報告し、まちづくり提案（骨子案）についてご意見をいただきました。また、市からは「府中市都市・地域交通戦略（案）」のパブリックコメントについて報告がありました。

2. 「第4回にぎわい検討部会」「まちあるき」「事例見学会」を行いました

「第4回にぎわい検討部会」「まちあるき」「事例見学会」それぞれで出た主な意見をご紹介します。

第4回 にぎわい検討部会

日時：平成29年10月26日（木） 19時～20時40分
場所：片町文化センター
出席者：分倍河原共栄会5名（株）ジオ・アカマツ2名
NREG東芝不動産(株)1名

<防災について>

○防火水槽・消火栓を利用するためにホースと台車を自治会で購入したが、使い方が難しいので訓練が必要である。

<商店街の土地利用について>

○容積率を上げて、使える床面積を増やしていくことは、商店街にとって大きな力になると思う。
○商店街の沿道と、京王線の西側の線路沿いのエリアも含めて容積率をあげていくことを検討してもよいと思う。

<大型店舗と商店街の連携について>

○ミナノでは毎月イベントを実施しており、ファミリー層の参加が多い。現在行っているイベントをミナノだけでなく、商店街や南口駅前広場も含めて連携して実施できないか。

事例見学会 ～祖師ヶ谷大蔵～

日時：平成29年11月22日（水） 15時～16時30分
場所：祖師ヶ谷大蔵
参加者：分倍河原共栄会5名（株）ジオ・アカマツ1名 NREG東芝不動産(株)1名
美好町3丁目自治会1名 片町3丁目自治会1名

●駅前広場



駅北側に約 1,200 m²の人のための広場を整備しています。

●駅北側の商店街



駅北側の商店街の道路幅員は、約 6.0mで、建替えの際は 1階部分を道路境界から 1.5mのセットバックをして、歩行・買い物空間とするルールが定められています。

●駅南側の商店街



駅南側の商店街も、北側の商店街と同様に、建物をセットバックするルールが定められています。北側よりセットバックが進んでおり、ゆとりある歩行者空間が形成されています。

主な意見

- 駅の南北で性格が異なる点が共通しており参考になった。
- 分倍河原と似たまちの構成でありながら、行政の取組みや条例等の活用の仕方によって、こんなにもまち並みが変わるのかということを知ることができ、勉強になった。
- まちづくりには地元の人々の協力が必要だということに改めて感じた。私権を十分尊重して、まちづくりを進めていきたい。
- 分倍河原では長期的な計画と、駅へのアクセスの改善やこ線橋の架け替え等、比較的短期的な計画の両方が必要だと思った。
- 分倍河原より大きな街で、商店の種類も多様だった。分倍河原の商店街としては、物販の店が必要であるが、飲食店に移行するのは時代の流れなのかもしれない。
- 祖師ヶ谷大蔵は、生活している人が多いが、分倍河原では通勤者も多いため、働く人に対することも考える必要があると思った。

まちあるき

日時：平成29年11月11日（土） 14時～16時10分
場所：分倍河原駅周辺地区
参加者：片町二丁目自治会2名 美好町3丁目自治会5名 分梅第一自治会1名
分梅高倉自治会1名 分倍河原共栄会3名

東西動線

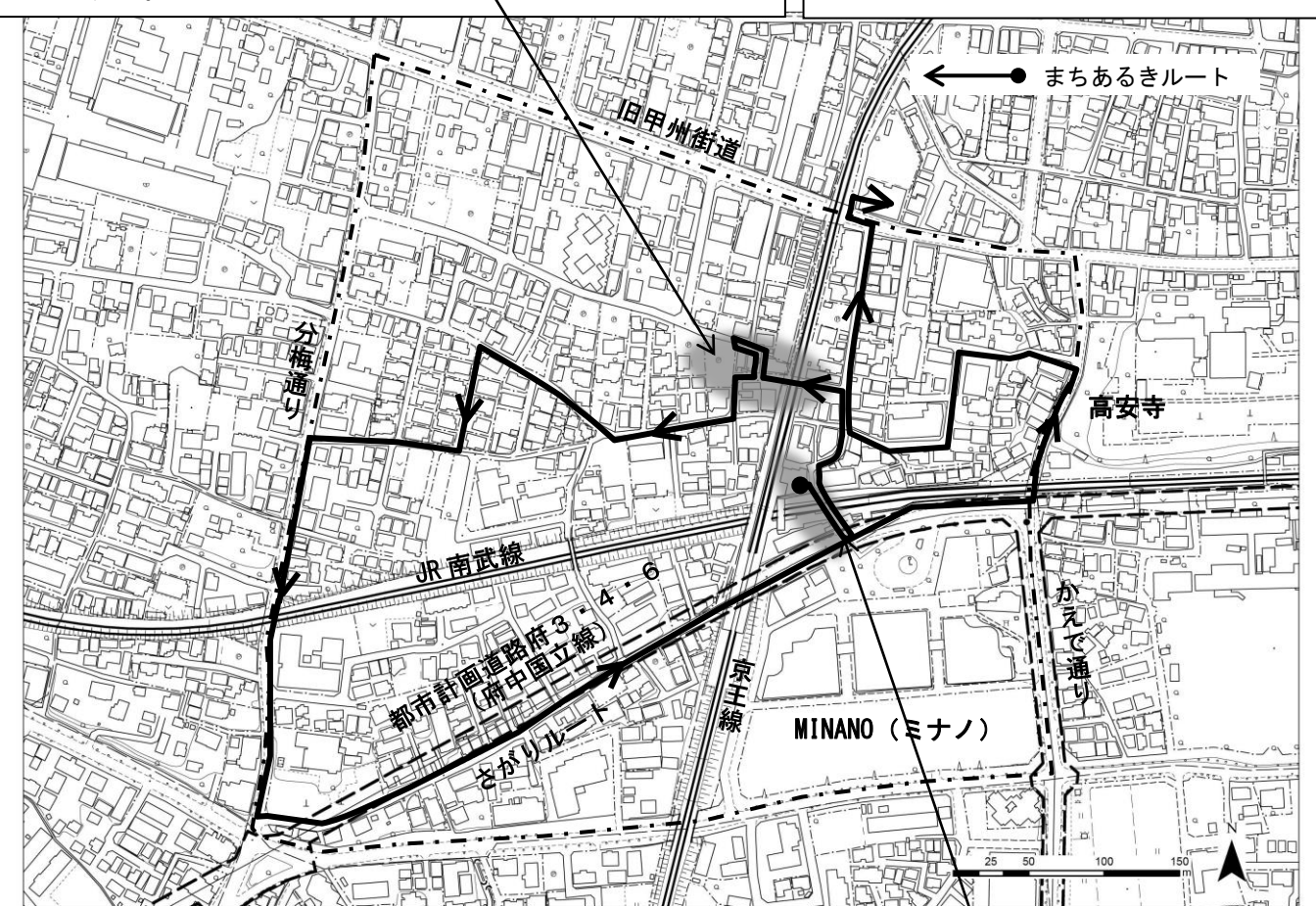
- 駅舎の改札口は増やさない方向だということだが、鉄道事業者には、地元からは西側に改札口を設置してほしいという要望があることを伝えて欲しい。
- 地区の北西側から京王線を東西につなぐ通路にアクセスする道路を整備することが必要だと思う。
- 分倍河原駅北第二自転車駐輪場から、線路沿いの空地等を活用して、東西自由通路等にアクセスできるようにしたい。
- 京王線西側の駅に近い場所は、用途地域を変更することも考えられる。

高安寺西側の道路

- 歩行空間を広げるために、歩道を片側に集約するならば、沿道に住宅が立ち並んでいる西側に寄せた方がよい。

商店街通り

- 商店街通りは、荷下ろし車両が多い時間帯でも、緊急車両がスムーズに通れるようにしたい。



分梅通り

- 朝夕は通学生や通勤者が多いにもかかわらず、街路樹や電柱により、歩道の幅が狭く危険な状況である。
- すべての樹木をなくすのではなく、一部を残したり、樹木以外の幅の狭い緑化を施すなど、工夫が必要である。
- 八雲神社の南側の道路から分梅通りに左折する際、角の電柱が邪魔になる。

南北動線

- こ線橋の架け替えの際には、北側の道路の高さとのように合わせるか考えなければならない。

さがりルート

- バリアフリー化整備事業により段差がなくなったが、自動車がすれ違う時に歩行者が危険になった。